

## 韓国・長水郡から農業視察団



東川町農協の玄米センターで

韓国・全羅北道長水郡の郡職員ら一行10人が11月20日から3泊4日で東川町を訪れ、農業を中心として本町の産業視察を行いました。

ジャン・ジエヨン郡守を筆頭に、同郡農業技術センター長、同環境資源事業所長、同技術支援課研究開発担当職員、同郡議会議員、農業中央会長長水郡支部職員ら。

1トン詰め玄米のフレコン出荷が可能な東川町農協の玄米センター、水稲の種もみ温床殺菌施設を整備している農業振興センター、大規模な雪貯蔵保冷施設がある(株)丸巳の野菜集出荷・選果施設など本町の農業と道立上川農業試験場(比布町)を視察しました。

## 「子どもの心を守る」講演会



11月15日、東川町母と女性教職員のつどい推進委員会(國木里絵委員長)が農村環境改善センターで「子どもを守る」講演会を開きました。

会場は学校教職員ら女性を中心。講師は札幌在住の詩画家、坂本勤さん。十勝管内幕別町の中学校を振り出しに教職を退職後、詩画家として活動しています。

「『何で私の言うことを聞けないの?』と考える前に『言うことを聞かせるための何かを自分は持っているか』と考えてください」「『〇〇なさい』と言われると子供はムカッと来る。何かをしてほしい、と願うなら、『お母さんは』と自分を言葉の頭につけてみよう。『しなさい』という命令口調は出なくなります。いつも『だめ』『やめなさい』ばかり言っているのは、『だめ』の重さが分からなくなる。今『だめ』、と言ったことがもつとも大事なことだったのだから、>

## 台湾からの語学研修生、本場中国餃子の味に感激

11月18日、西町2、吉田秀美さん(60)の餃子料理教室で、日本語を学んでいる台湾からの語学研修生5人が水餃子に舌鼓を打ちました。

「台日友好ギョーザパーティー」と題して作り方を伝授する教室。町内から約15人が参加しました。台湾からの5人の研修生は、いずれも餃子の手作りが初めての挑戦だったよう。ひき肉

を練り込んだり、さまざま成形になってしまう皮作りをしながら「おもしろい」と大喜び。出来上がった一口サイズの餃子を囲んで、にぎやかなひと時を楽しみました。

中国帰国子女の吉田さんは、中国東北地方の本場の餃子作りが得意。リクエストに答えて、ボランティアで料理を教えています。

